

心をひとつにした

まちづくり

平成21年度町政方針

白石町長は、3月2日(月)に開会した松前町議会第1回定例会で、平成21年度の町政方針を述べました。

町政方針は、この1年間にどのような施策を行うのか、町の進むべき指針を示すものです。

町政方針と新年度の予算をお伝えしながら、「心をひとつにしたまちづくり」の実現に向け、松前町が取り組もうとしている事業について、皆さんに紹介します。

はじめに

平成21年度の地方財政は、昨年9月以降の金融危機に伴い、景気が低迷しており、現在でも回復の兆しが見られません。このため、地方税や地方交付税の原資となる国税5税が大幅に減少することが避けられない一方、依然として高い水準で推移する借りたお金の返済費用や増加する社会保障関係経費により、大幅な財源不足が見込まれます。

しかし、このような地方財政の状況下でも、地方公共団体は、住民が将来にわたって安心して生活できるよう、地域医療の確保や福祉・介護サービスといった地域住民の生活を支える基礎的サービスを確保していかねければなりません。また、地方が元気を回復し、その力を発揮できるよう、産業振興など地域の活性化につながる施策を自主的・主体的に行っていく必要があります。

予算編成の基本方針

松前町の平成21年度予算の歳入

は、町税が昨年度と比較すると微増しか見込めず、地方交付税も税収の増額分以上に減額が見込まれる状況です。

歳出は、学校施設の大規模改築、補助費等や社会福祉費の増加により年々増加傾向にあります。そのため、引き続き大幅な財源不足に陥っています。

このように厳しい財政状況ですが、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応するため、環境衛生とリサイクル対策の充実、道路・交通網の整備、防災対策、消防・救急対策の充実、教育施設の整備、児童・生徒への支援充実、高齢者・児童・障害者福祉の充実、農漁業・商工業の振興などに対し、重点的に予算配分を行いました。

総合計画5つの柱に基づく重点施策

平成21年度の主要事業について、総合計画における基本施策と関連させながら抜粋して紹介します。